

連載

株式評論家 山本伸一の

兜町スタンダード



ボーナス資金でボーナス株に投資？

6月相場も後半。本格化した梅雨とともに株式相場もスコールのような「急落」と蒸し暑くジメジメとした「はつきりしない戻り」を交え、季節傾向を反映したような展開となっている。

ただ、時期的には夏のボーナス支給シーズンでもある。過去には冬の支給タイミングの12月と同じく投信販売が賑わいを見せた経緯もあり、市場には資金流入に対する期待度が高い面もある。

期待のまま資金が流入すれば「サマラリー」につながり、資金流入が乏しければ「夏枯れ相場」となるが、足元の景況感も影響するだけに、やや後ろ向きな消費自粛ムードや「節電意識」が高まるなかでは厳しいかもしれない。

しかしながら、人の行く裏に道あり花の山。市場参加者の多くが買い難いときこそ天与の買い場となるのが株式相場である。企業実態を見極め、丹念に銘柄分析を行えば、不当に割安圏に置かれた思わぬ「ボーナス株」に出くわす可能性もあるのではないだろうか。そこで弊社では、ボーナステーマを題材とした「厳選5銘柄付き緊急市況レポート」を発売することにした。厳選銘柄やレポートに興味を持たれた方は、弊社に直接問い合わせしてほしい。